

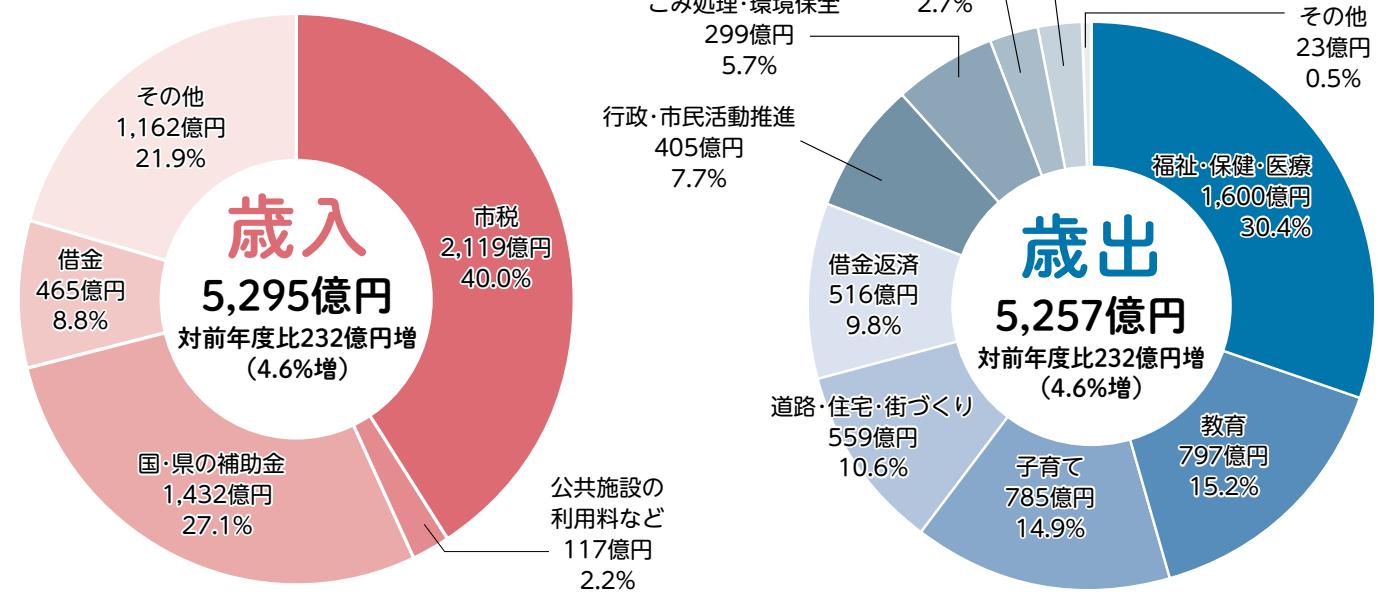
2024年度決算を解説／千葉市のお財布

✓ 一般会計の内訳

歳入において、市税や地方消費税交付金が予算に比べ増収となつたことと、歳出において、効率的な予算執行に努めたことにより、実質収支*は



*歳入と歳出の差額から翌年度への繰越事業に充てる財源を差し引いた額



子育て・教育支援の充実

子育て期までの支援の充実

- 子ども医療費の助成対象拡大（中学生まで→高校3年生相当年齢まで）、小学4年生以上の保護者負担軽減（通院1回500円→300円）
- 産後ケアの訪問型の利用可能期間拡大（産後5ヶ月未満→1年末満）

子育てしやすい保育環境の充実

- 公立保育所での、3歳以上児への主食提供を段階的に開始
- 保護者の就労状況を問わず時間単位で柔軟に利用できる、こども誰でも通園制度を試行的に実施

健康・福祉の充実

健康づくりの促進

フレイルが疑われる高齢者への保健指導などを行う医療専門職を、中央・緑区の保健福祉センターに配置（6区全てでの配置が完了）

医療提供体制の充実

海浜病院の老朽化に対応し、新病院の整備を実施

動物愛護の推進

（仮称）動物愛護センターの整備に向けた基本計画を策定

障害のある方への支援

就学前児の発達に関する相談窓口「こども発達相談室」を開設（6面）



重層的・包括的支援体制の構築

「福祉まるごとサポートセンター」において、支援が届いていない方とのつながりの形成に向けた訪問などの支援を開始

環境・自然の保全

地球温暖化対策

- 脱炭素先行地域事業として、市有施設へ太陽光発電設備を導入するとともに、清掃工場の余剰電力を市有施設で活用するためのシステム設計を実施
- 住宅用再生可能エネルギー等設備の導入や次世代自動車の購入を助成



ごみの削減と適正処理

- プラスチックの分別収集・再資源化モデル事業を実施
- 将来にわたり安定したごみ処理体制を構築するため、新清掃工場の整備を実施



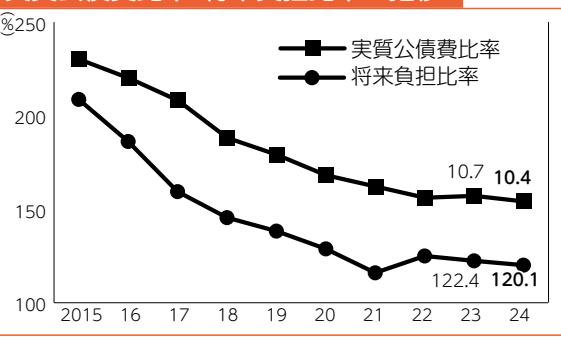
決算は、1年間で市に入ってきたお金と使ったお金の合計を表したもので、今年10月に、市議会で承認された2024年度決算の概要をお知らせします。
問財政課 ☎245-5077 Fax245-5535

✓ 2024年度決算のポイント

歳入は市税収入が過去最大、歳出については決算規模が2020年度に次いで過去2番目の規模となりました。

市債残高や基金借入残高は、前年度と比べ、着実に削減するとともに、実質公債費比率*や将来負担比率*を低減するなど、中期財政運営方針（2022～2025年度）を踏まえ、財政の健全性の維持に努めた決算となりました。

実質公債費比率・将来負担比率の推移



*実質公債費比率…その年に支払った借金返済額が収入に占める割合
将来負担比率…将来、市が負担する借金が収入に占める割合

市債残高の推移



財政調整基金残高の推移



▶ 今後の見通し

2024年度決算は財政の健全性の維持に努めた結果となりましたが、長期化する物価高騰や社会保障関係経費の増大に対応するため、近年、財政調整基金の大幅な取崩しが続いている、今後活用できる残高は僅かとなっています。

加えて、人件費や金利上昇に伴う公債費などの財政需要の増も見込まれており、今後の財政運営は、一層厳しさを増す見通しとなっています。

このような状況においても、安定的かつ継続的に市民サービスを提供していくことができるよう、将来にわたって持続可能な財政構造の確立に向け取り組んでいきます。

特性を活かすまちづくり

持続的な公共交通ネットワークの形成

大宮台コミュニティバスの運行を開始するとともに、路線バス事業者などへの支援として、バスやタクシーの運転手不足に対する支援などを実施

都心の魅力向上

- 中央公園・通町公園の連結強化のための整備や、千葉公園の再整備を推進
- 老朽化が進んでいるZOZOマリンスタジアムの将来像を示す基本構想を策定



地域資源の発掘・活用

千葉開府900年となる2026年に向けて、千葉開府まつりの開催や記念ロゴマーク・キャラクターコピーの公募・選定、特設サイトの開設などによる周知・機運醸成を実施

道路ネットワークの形成

広域道路ネットワークを形成するため、引き続き塩田町・誉田町線や磯辺茂呂町線などの街路整備を推進



スマートシティの推進

- 幕張新都心における自動運転車サービスの安全性検証のため、デジタルツイン環境での実証実験を実施
- 区役所の一部手続きで、原則署名だけで申請書の記入が不要となる「書かない窓口」の開設に向けた準備を実施（4面）

物価高騰に対する支援

- 定額減税しきれないと見込まれる方、低所得世帯に給付金を支給
- 学校・保育施設などの給食費に対して、食材料費の高騰分を市が負担
- エネルギーなどのコスト増加の影響を受ける中小企業者に対し、事業継続のための支援金を支給
- 光熱水費、燃料費などの負担軽減のため、下水道事業や地域公共交通事業者などへの支援を実施

2024年度 実施した主な事業

地域経済の活性化・農業振興

地域経済の新たな担い手の創出

- 新たな産業用地である「ネクストコア千葉生実」の造成工事着手に向け、開発許可・林地開発許可取得のための手続きを支援
- 将来的税源を生み出すため、企業立地を促進。企業立地事業計画認定件数46社（3年連続で過去最多を更新）
- スタートアップ企業の成長を外部メンターにより支援するとともに、イノベーションの創出を促進するなど、企業成長・創業支援を強化



*画像はイメージです。建物や道路の形状は変更となる可能性があります。

農業振興

- 食のブランド「千」認定品の創出を促進するため、商品力・販売力強化に資する個別支援を実施
- 本市農業の持続的な発展と成長産業化を促進するため農業機械導入・施設整備に係る費用を助成するとともに、新規就農者を育成するための研修を実施



観光資源の価値向上

地域への経済効果の創出を図るため、「X Games Chiba2024」の開催を支援

MICEの促進

観光や地域の活性化につながるイベント・会議の開催に対する支援を実施

地域社会の充実

持続可能な市民主体のまちづくり

- 地域団体に対し、地域課題の解決に向けた研修会などを実施
- 町内自治会活動に資するデジタルツール活用モデル事業を実施

外国人住民の地域社会への適応支援

外国人総合相談窓口の運営や地域日本語教育の推進、コミュニケーション・翻訳・サポート制度などの実施

インクルーシブなまちづくりの推進

障害の有無などに問わらず、誰もが一緒に遊べるよう、花島公園における広場の整備に向けた設計を実施

生涯学習を通じた地域活動の推進

千城台公民館と若葉図書館の複合施設化による再整備に向けた基本設計を実施